

# 2024 年度 学校法人 三幸学園 沖縄みらいAI&IT専門学校 自己評価ならびに学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 坂東 真弥

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 山下 直樹

## 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、AI・IT 分野の学校として「AI・IT を通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げ、「AI・IT を通じて人に感謝され、持続可能な社会に貢献できる人材を育成する」といった人材育成方針を掲げている。また、「社会で活躍するために、専門分野における新しい知識や技術の習得に努力を惜しまない人」「素直な 気持ち、感謝する気持ち、思いやりのある人」「自ら未来を切り開いていこうとする情熱と夢を持ち続け、仲間 と協力して目標を達成しようと努力する人」をアドミッションポリシーとして掲げ、その実現に向けて生徒指導を 展開している。

## 2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

前年度重点施策振り返り

＜教務目標＞ ■生徒を知り、生徒 1 人 1 人を認め、生徒の居場所を学校に作る

■AI・IT 業界に魅力を感じ、生徒が学びがいをもって学校に通っている

■教務の土台作り(オンライン授業、出席・成績管理の仕組み等)

■進級率 → 90%以上 (退学率 10%以下)

### ① 学校関係者評価委員会コメント(坂東委員)

2024 年度は開校 1 年目で土台のないところからのスタートだったが、教職員・講師・企業様と様々な連携を通して非常に良い学校運営、結果の出た 1 年となった。

授業アンケートの結果に関して、先生はあなたの名前を憶えてくれていたか 3.82(4 点満点中)、先生は生徒ひとりひとりの状況を把握し、声がけていたか 3.44(4 点満点中)、授業方法は生徒の興味をひくように工夫されていたか 3.51(4点満点中)など、重要視している項目は全国同分野姉妹校 2 校の中でも高く、目標にしていた生徒を知り、1 人 1 人を認め、学びがいをもって学校に通うことができたと感じられた。

その結果として、進級率も 95.1%と目標にしていた 90%を大きく上回ることができた。

就職に関しても、様々な企業様のご協力のもと早期から合同企業説明会や授業内での企業講話、ゲーム希望者向けの特別セミナー、IT 津梁パーク見学ツアーなどを開催させていただいたことで業界や職業への理解を深めることができ、2024 年度中に約 15%の内定率を出すことができている。

2025 年度は学生数や教職員も増えるため、2024 年度の様々な施策をブラッシュアップしながら取り組んでいく。

### ② 学校関係者評価委員会コメント

・ 授業アンケートの結果で、全国同分野姉妹校 2 校の中でも高い評価について、開校 1 年目より、教職員・講

師・企業様との連携が、今回の授業アンケートの高評価に繋がったと思われます。(山下委員:AI プログラミング &CG クリエイター科・WEB クリエイター科について)

- ・ 進級率も目標値を大きく上回り、就職率に関しても、既に 15%の内定を頂き、今後も企業様との連携を深めて、2025 年度の学生、教職員増に備え、引継ぎ施策のブラッシュアップをお願いします。(山下委員:AI プログラミング &CG クリエイター科・WEB クリエイター科について)

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

#### ① 課題

- ・ 理念・人材育成像を明確に掲げ、提示・説明しているが、様々な場面で繰り返し伝えつづけていく必要がある。

#### ③ 今後の改善方策

- ・ TEAMS を活用し、日頃からタイムリーに情報を共有できるようにする
- ・ 全体会議など、繰り返し様々な場面で理念・人材育成像を伝え続けていく。

#### ④ 特記事項

- ・ 保護者や企業様に対して説明会を通じて学園、学校の理念、目的、育成人材像、将来構想などを伝える

#### ⑤ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ 理念・人材育成像を明確に掲げ、提示・説明について引き続き生徒に伝え続けて下さい。(山下委員:AI プログラミング&CG クリエイター科・WEB クリエイター科について)
- ・ 共有アプリ(TEAMS)で、情報の共有・各教員間とのコミュニケーションを取り、ディスカッションアイテムとして活用を行う方策は、有効で、来年度の評価に期待します。(山下委員:AI プログラミング&CG クリエイター科・WEB クリエイター科について)
- ・ 保護者や企業様に対して説明会を通じて学園、学校の理念、目的、育成人材像、将来構想などを通じて、進級・卒業率・就職率の向上に期待します。(山下委員:AI プログラミング&CG クリエイター科・WEB クリエイター科について)

## (2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

### ① 課題

- 適切な学校運営を行えている箇所が多いが、コンプライアンス体制に関しては、教職員全員の意識と行動が高いレベルというには至っていない為、引き続き研修や管理を行っていく。
- 情報共有・収集の強化、システム化などをより進め、働き方改革を進め、より効率的かつ効果的な業務遂行、学校運営を行っていく必要がある。

### ② 今後の改善方策

- 学園本部よりコンプライアンス研修を実施し、個人情報保護や SNS リスク、ハラスメント対策など教職員全体が適切な知識と対応をとれるようにする。
- 全国に姉妹校があるスケールメリットなども活かした、情報収集などによる効率化、情報システム化、業務の仕組化、OJT・OFF-JT による育成システムの構築による教職員のレベル UP を図る。

### ③ 特記事項

- タブレットを活用して出席管理を行うこと、TEAMS などを使い情報共有を行う、経費採算システムなど、ここ数年間で新たに導入したシステムを軌道に乗せることができている。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- コンプライアンスについては、近年の社会情勢の基準になっております。  
コンプライアンス研修を通じて、個人情報保護や SNS リスク、ハラスメント対策など教職員全体が適切な知識と対応をお願いします。（山下委員:AI プログラミング&CG クリエイター科・WEB クリエイター科について）
- タブレットを活用したシステム運用の向上の成果が伺えます。今後も継続をお願いします。（山下委員:AI プログラミング&CG クリエイター科・WEB クリエイター科について）

## (3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

## ① 課題

- ・ 関連分野や関連企業・団体との連携の強化を行い、今後も提携先企業や実習先の開拓、関係性構築していく必要がある。
- ・ 生徒数増加に伴い、教員の人数も増えたため、経験が浅い教員の育成を行っていく必要がある。(現在はベテラン教員とペアで授業を実施している)

## ② 今後の改善方策

- ・ 業界との繋がりを強化、実習先の充実、教職員の知識習得に繋がられるよう、引き続き情報収集や企業訪問を実施する。
- ・ 教員研修などを行い、教員の育成を行っていく。

## ③ 特記事項

- ・ 関連分野における先端的な知識や技能を有する客先常駐がいるため、授業要件の確保ができている
- ・ 教職員のITの知識理解を踏まえて、ITパスポートの受験を勧めている(資格取得に関わる費用は負担)

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ 関連分野や関連企業・団体との連携した実習活動を引き続き行い、実習先の充実をお願いいたします。  
(山下委員:AIプログラミング&CGクリエイター科・WEBクリエイター科について)
- ・ 教員の人数も増え、能力開発の研修及び、ベテラン教員の経験、知識を経験の浅い教員のスキルアップに繋げる施策を引き続き、お願いいたします。(山下委員:AIプログラミング&CGクリエイター科・WEBクリエイター科について)
- ・ 先端的な知識や技能を有する業界のため、教職員も知識向上に繋がる、「ITパスポート」の取得等、施策を評価します。(山下委員:AIプログラミング&CGクリエイター科・WEBクリエイター科について)

#### (4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格(免許)取得率の向上が図られているか	2
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

##### ① 課題

- ・ 退学率を維持。
- ・ 卒業後も継続した関係性構築。  
(卒業生用公式 LINE や、学園独自のシステムなど関係性を構築できる環境は整えられている)

##### ② 今後の改善方策

- ・ 退学率維持 ⇒ 授業・学校生活での業界魅力伝達の強化、保護者との連携強化。担任制度をチーム担任制にし、生徒やクラスの状況にあった教員が対応できる体制を整備。生徒との関係の質を大切に、特に初めの段階でどの担任、どの先生に相談しても OK なことを伝達し、学科、クラス、担任の枠を超えて生徒と関わられるようにする。また定期的にアンケートを実施し、悩みなどを把握、相談しやすい環境作りを実施。
- ・ 就職先の更なる充実 ⇒ 県内の企業や施設への訪問、情報収集を強化することでの求人獲得
- ・ 1 期生に対し、卒業後の連携内容や体制を伝達していく。

##### ③ 特記事項

- ・ 全国に展開している姉妹校との連携により、資格取得や就職に向けた傾向と対策を実施。また退学率低減についても教育開発部が主導となって、退学者への様々なアプローチを実施し、低減に努めている。

##### ⑤ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ チーム担任制について、すべての先生に相談できる試みは、学生が気軽に悩み・相談が出来、業界の魅力や将来性等を伝え、教員・保護者・生徒の情報共有で退学率維持に繋がる支援だと思います。  
(山下委員:AI プログラミング&CG クリエイター科・WEB クリエイター科について)
- ・ 1 期生卒業後もSNSを通して、卒業後のフォローアップや後輩生徒への情報提供に繋げて就職率の向上に期待します。(山下委員:AI プログラミング&CG クリエイター科・WEB クリエイター科について)
- ・ 一人でも多くの学生が、自身の希望する職種や勤務地で就業できるようにするためには、企業との密な連携が不可欠です。学生のキャリア形成を支えるうえで、実習やインターンシップ、企業説明会などを通じた企業様との接点づくりを積極的に進めていく必要があります。そのため、企業の皆さまとのつながりを深めていただき、学生との交流や採用の機会に繋げていただくと良いと思います。(洲鎌委員:AI プログラミング&CG クリエイター科・WEB クリエイター科について)
- ・ IT 業界は日々進化しており、現場で活用されているツールや技術は常に更新され続けています。こうした変化に対応し、学生が将来的に求められるスキルをタイムリーに習得・活用できるようにすることが重要です。(洲鎌

委員:AI プログラミング & CG クリエイター科・WEB クリエイター科について)

## (5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

### ① 課題

- ・ 進路・就職支援体制に関しては、今後も様々な企業、団体との連携を図っていく。
- ・ 学校独自の特待生制度や、学費サポート制度、スクールカウンセラーの設置、学園本部と連携しスクールソーシャルワーカーの設置など体制を整えているが、制度だけでなくチーム担任を中心として、学生がより相談しやすい学校、生徒の変化に教員から気付き声をかけられる学校にしていきたい。

### ② 今後の改善方策

- ・ 企業訪問、連携などを強化し、学生との関わりを増やしていく。
- ・ チーム担任制を導入し、生徒に初めの段階でどの担任、どの先生に相談してもOKなことを伝達。また定期的にアンケートを実施し、悩みなどを把握、相談しやすい環境作りを実施。
- ・ 生徒との関係の質を大切に、この先生・この学校は信頼できる、相談できるといった関係性を構築していく。生徒やクラスの状況にあわせて、あつていそうな教員が面談や対応を実施。入学・進級直後での面談に加えて、学科、クラス、担任の枠を超えそれぞれの教員が各クラスに顔を出し、生徒の変化などを確認する、声をかける機会を増やす。また、教員間での情報共有をより加速させていく。⇒生徒の変化などをよりタイムリーに把握し、必要に応じて保護者の方にも協力頂き対応していく。
- ・ 生徒のメンタルケアをサポートするため、スクールカウンセラーを設置しタイムリーに対応していく。
- ・ 生徒が抱える様々な問題を解決する為に、スクールソーシャルワーカーを設置しタイムリーに対応していく

### ③ 特記事項

- ・ 全国の姉妹校との連携を活かして、オンラインも有効活用しての進路・就職支援制度の整備は進んでいる。
- ・ キャリアマップを活用した就職活動は起動に乗っている。

- ・ 高校と連携し、部活動や、キャリアに対するサポート、取り組みを積極的に実施できている。
- ・ 保護者連絡ツール「スクレ」を導入し、保護者にも学校の取組を把握いただくために情報提供している。
- ・ 生徒会を発足し、生徒会の学生から学校やクラス状況を聞きながら学生と一緒に学校創りができている。

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ 学生が安心して楽しい学校生活を送れる環境作りを今後も継続をお願いします。(山下委員:AI プログラミング & CG クリエイター科・WEB クリエイター科について)
- ・ チーム担任制について教育に携わるすべての先生に相談できる試みは、学生が気軽に悩み・相談が出来る支援だと思えます。(山下委員:AI プログラミング & CG クリエイター科・WEB クリエイター科について)
- ・ 全国の姉妹校とのオンラインを活用しての進路・就職支援制度の整備や保護者連絡ツール「スクレ」の導入等で情報提供を通じて、学校・保護者・学生の信頼関係向上に繋がる施策を引き続きお願いします。(山下委員:AI プログラミング & CG クリエイター科・WEB クリエイター科について)
- ・ 学生支援体制が非常にしっかりと整備されており、進学を検討する高校生に対して安心感を与える要因の一つとなっている。特に、通信制高校出身の学生に対する配慮も行き届いており、IT 系分野を希望する生徒にとっても魅力的な環境が整っていると評価できる。授業内容のフォロー体制や、心理的なサポート体制が充実している点は、学習面・生活面の双方から学生を支える仕組みとして機能しており、教育機関としての信頼性の高さを感じさせる。このような支援体制の整備が、多様な背景を持つ学生の受け入れにつながり、学習意欲や定着率の向上にも寄与していると考えられる。(水澤委員:AI プログラミング & CG クリエイター科・WEB クリエイター科について)
- ・ 学校全体で生徒を支えていく体制がしっかりと構築されており、学生一人ひとりに対する丁寧な対応が行われている。こうした体制は、学生の安心・安全な学びの場を確保するうえで重要であり、教育機関としての大きな強みであると評価できる。今後さらに学生数が増えることが想定される中、このような体制を引き続き継続・発展させていくことが望まれる。(洲鎌委員:AI プログラミング & CG クリエイター科・WEB クリエイター科について)

## (6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

## ① 課題

- ・ 今後も実習やインターンシップ先の確保、質の向上を進めていく必要がある。

## ② 今後の改善方策

- ・ 積極的に情報収集や、企業訪問を行い、実習施設やインターンシップ先の充実を図っていく。

## ③ 特記事項

- ・ 全教室にPC プロジェクター、Wi-Fi が設置されている。
- ・ 様々な企業様のご協力のもと、合同企業説明会や授業内での企業講話、ゲーム希望者向けの特別セミナー、IT 津梁パーク見学ツアーなどを開催し業界や職業への理解を深めることができている。

## ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ 全教室にPC プロジェクターの導入、Wi-Fi 環境で教育環境向上について評価します。(山下委員:AI プログラミング&CG クリエイター科・WEB クリエイター科について)
- ・ 業界団体様との説明会、企業講和、見学ツアー等で業界や職業への理解を深める施策について評価します。今後も継続を願います。(山下委員:AI プログラミング&CG クリエイター科・WEB クリエイター科について)

## (7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

## ① 課題

- ・ 定員充足率100%の維持、向上
- ・ 奨学金や高等教育無償化に関して、高校でしっかりと説明を受けていないケースが多くあるので、オープンキャンパスなどを活用して、本校からも説明や告知を行っていく必要がある。

## ② 今後の改善方策

- ・ SNS にて学校の魅力を発信する、進路ガイダンスに積極的に参加する、早期対策などを含めた広報活動の更なる対策強化を行う。
- ・ オープンキャンパスや、進路ガイダンス、高校訪問などで十分に説明、告知を行っていく。

## ③ 特記事項

- ・ 一般社団法人沖縄県専修学校各種学校協会に加盟し、同会で定められた生徒募集ルールに則り取り組んでいる。併せて、沖縄広報室からの支援も受けて募集活動に取り組んでいる。

## ⑤ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ 将来への高い希望をもって入学した学生を奨学金や高等教育無償化等の問題で就学意欲の低下による学力低下や早期退学の事態が起きないようにオープンキャンパスや、進路ガイダンス、高校訪問などで十分に説明、告知を行っていく取り組みをお願いします。（山下委員:AI プログラミング&CG クリエイター科・WEB クリエイター科について）
- ・ 沖縄県専修学校各種学校協会での生徒募集ルールに則り、募集活動や、沖縄広報室からの支援も受けて活動を今後も進め、定員充足率100%の維持、向上に努めて下さい。（山下委員:AI プログラミング&CG クリエイター科・WEB クリエイター科について）
- ・ 現在、留学生の受け入れを行っている企業も増加傾向にあり、将来的な人材確保の観点からも、学校として留学生の募集に力を入れていくことは有意義であると考えられる。多様なバックグラウンドを持つ学生の受け入れは、学校全体の国際性の向上や教育の幅の拡大にもつながる。（洲鎌委員:AI プログラミング&CG クリエイター科・WEB クリエイター科について）

## (8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

## ① 課題

## 【中長期計画】

なし

## 【予算・収支計画】

なし

## 【会計監査】

なし

## 【財務情報の公開】

なし

## ② 今後の改善方法

## 【中期計画】

今期は第3期中期計画(2023 年度～2027 年度)の2年目にあたり、中期計画及び進捗状況はホームページ上に公開している。

## 【財務情報の公開】

なし

## ③ 特記事項

第3期中期計画については、東京未来大学及び小田原短期大学の中計改定に加え、東京みらい中学校及び支援学校仙台みらい高等学園の内容を追加し、第3期中期経営計画(第2版)として改定する予定である。

## ④学校関係者評価委員会コメント

特になし

## (9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

## ① 課題

- ・ 自己評価で浮き彫りになった課題を解決していく必要がある。

## ② 今後の改善方策

- ・ 各項目、自己評価で浮き彫りになった課題に対して、しっかりと改善策を実施していく。

## ④ 特記事項

なし

## ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ 引き続きコンプライアンスを遵守、情報公開を行い適正な学校運営をお願いします。  
（山下委員:AI プログラミング&CG クリエイター科・WEB クリエイター科について）

## (10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	2

### ① 課題

- ・ 社会貢献活動・地域貢献活動・ボランティア活動などを積極的に行い、地地域の活性化などに繋げていきたい。

### ② 今後の改善方策

- ・ 社会貢献活動・地域貢献活動・ボランティア活動を引き続き参加していく。

### ③ 特記事項

- ・ 様々な方や、団体施設と連携し、施設の貸し出しや、サポート、ボランティアを実施している。
- ・ こども向けのプログラミング教室の開催校として施設を貸し出し、学生がこどもにプログラミングのサポートをしている

### ⑤ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ こども向けのプログラミング教室の開催や施設の貸し出し等、学生によるプログラミングのサポートを通じて社会貢献、地域貢献に寄与している活動の継続を引き続きお願いします。（山下委員:AI プログラミング & CG クリエイター科・WEB クリエイター科について）

## 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

2024 年度は開校初年度でありながら、教職員・講師・企業様との連携を通じ、教育・学校運営において多くの成果を上げることができた。特に「生徒を知り、認め、居場所を作る」という教務目標に基づき、生徒の学びがいと安心感のある環境づくりに注力し、進級率 95.1%という結果に繋がった。教育理念や人材育成像の周知、情報共有体制の強化、タブレットや ICT の活用も定着した。2025 年度は完成年度として、これまで築いてきた取り組みの質を落とすことなく継続・発展させるとともに、初の卒業生を輩出する年度となるため、確かな就職実績の構築にも力を入れていく。さらに教職員の育成や産学連携の強化、卒業生との継続的な関係構築を通じて、教育の質をより一層高めていく。